

研究発表大会予告



第32回 国際 P2M 学会 研究発表大会 「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントと P2M」

北陸先端科学技術大学院大学 内平直志

2021 年度の国際 P2M 学会秋季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントと P2M」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、今後ご案内する申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。

なお、本大会はオンラインの Web 形式にて開催いたします。遠方の方でもご自宅やご勤務先からご参加いただけますので、ぜひこの機会をご利用いただければ幸いです。

1. 大会テーマ

「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントと P2M」

2. 開催日・形式

開催日 : 2021 年 10 月 24 日 (日)

開催校 : 北陸先端科学技術大学院大学

〒923-1292 石川県能美市旭台 1-1

(本校)

〒108-6019 東京都港区港南 2-15-1

品川インターシティ A 棟 19F (東京サテライト)

〒920-0853 石川県金沢市本町 2-15-1

ポルテ金沢 9F (金沢駅前オフィス)

開催形式 :

午前の部 (研究発表)

オンデマンド配信

午後の部 (基調講演とパネルディスカッション)
リアルタイム配信

※インターネットに接続可能なパソコンやタブレット PC、スマートフォン等からご参加いただけます。発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会の HP 上に掲載します。

3. 開催団体に関する情報

主催 : 一般社団法人 国際 P2M 学会

共催 : 北陸先端科学技術大学院大学

会長 : 国際 P2M 学会会長 山本秀男

実行委員長 : 北陸先端科学技術大学院大学

副学長・東京サテライト長・教授 内平直志

4. 大会趣旨

デジタルテクノロジーを用いたさまざまな変革は、社会のあらゆる場面に押し寄せていますが、企業による研究開発、製品開発もその例外ではありません。製造業では 2011 年にドイツ政府が「インダストリー 4.0」という構想を発表し注目を集めましたが、そのキーワードや考え方は今や目新しいものではなく「デジタルトランスフォーメーション (DX)」という概念の中に含まれ、更に発展を続けていると言えます。そのような中、技術開発、製品開発の「マネジメント」のあり方も、変化を続けています。

デジタル変革時代の研究開発や新製品・サー

ビジネス開発では、試行錯誤を繰り返しながら新しい価値を創造し、誰よりも早くその価値を提供することが、企業や組織の競争優位の源泉になることが、広く認知されるようになってきました。そしてその実行のためには、外部のリソースを活用して迅速性を重視する「オープン・イノベーション」や、市場との対話と試行錯誤を重視する「アジャイル・イノベーション」をいかに的確にマネジメントするかが重要になると考えられます。しかし、そのマネジメントの方法論は、十分に確立していないと考えられます。

本大会ではこのような問題意識の下で、P2Mの視点からアジャイル・イノベーションやオープン・イノベーションのマネジメントに関して、その望ましいあり方について、製造業、ソフトウェア、研究開発、公的な研究開発などの分野より識者をお招きし、幅広く議論をします。なお、ここでのアジャイル・イノベーションは、ソフトウェアのアジャイル開発プロセスだけでなく、イノベーションとしての研究開発や新製品・サービス開発のプロセスが対象と考えます。

以上のとおり、「オープンでアジャイルなイノベーションマネジメントとP2M」をテーマに、皆様と議論していきたいと思っております。多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。

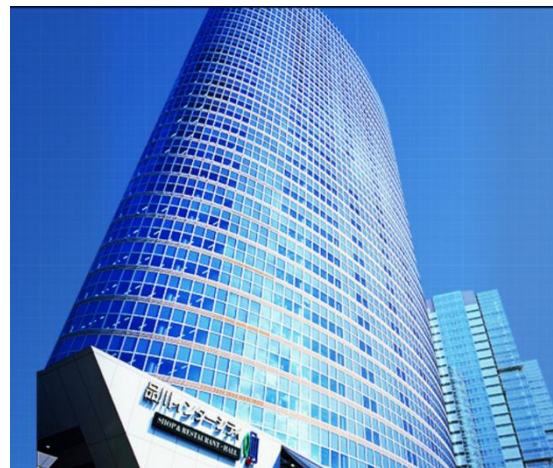
5. 今後の予定 ※ 都合により、変更される場合があります。

- (1) 発表要旨投稿期限：
2021年8月30日（月）24:00
- (2) 発表予稿投稿期限：
2021年9月20日（月）24:00
- (3) 発表動画入力期限：
2021年10月4日（月）24:00

（2021年6月18日 受理）



JAIST 本校キャンパス



品川インターシティ（東京サテライト）



ポルテ金沢
（金沢駅前オフィス）